ITOMIC
お湯のトータルプランナー

工事要領・取扱説明書

製品名：飲用洗物両用電気給湯器

型　式：ES-12,20,25,30,35,50,DW3BR/L
（タイマー型式 SSC-506H）

（自動湯水入替機能付）

本製品を安全に正しく設置・ご利用していただくために、事前にかならず本書をお読みいただき、十分に理解してください。
本書は、お読みになった後、いつでも使用できるようにかならず所定の場所に保管してください。

株式会社日本イトーミック
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3 イトミックビル
TEL：03(3621)2121(大代表)　FAX：03(3621)2130

フロント課(修理依頼承り先)
TEL：03(3621)2161 (大代表)　FAX：03(3621)2163

安全上のご注意

本書にはお客様への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただく事項を記載しました。ご使用の前に、本書を必ずお読みになり、内容をよく理解された上で設置・ご使用ください。

日常の点検は、下表を参考にしてください。

■警告表示の意味

本書では、取り扱いを誤った場合などの危険の程度を、次の2つのレベルに分類しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、『死亡または重傷などを負う可能性が想定される』内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、『傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される』内容です。

△の記号は、注意（警告を含む）をうながす事項を示しています。
△の中に、具体的な注意内容が描かれています。
（左図の場合は高温注意を意味します。）

⃠の記号は、してはいけない行為（禁止行為）を示しています。
⃠の中や、近くに、具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は分解禁止を意味します。）

●の記号は、しなければならない行為（強制行為）を示しています。
●の中に、具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け、という指示です。）

■重要事項:必ずお守りください

⚠ 警告	
	絶対に分解したり修理・改造を行わないでください。 発火、感電、やけど、漏水をしたり、異常動作をしてけがをすることがあります。
	本体は常時、配管部分は給湯中とその直後は高温になっていますのでふれないでください。やけどの危険があります。
	絶対に電装ケースを開けないでください。 感電、やけどのおそれがあります。
	本体近くにガス類や引火物を近づけたり保管しないでください。 発火のおそれがあります。
	必ず電源一次側に漏電遮断器を設けてください。 感電・火災のおそれがあります。

⚠ 警告

	漏電遮断器の作動を確認する。 万一の不動作で、故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	アース工事を確認する。 アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
	湿気の多い場所や浴室では使用しない。 水がかかったり、結露が生じる場所で使用すると故障や感電のおそれがあります。

⚠ 注意

	給湯器本体及び配管にのったり、体重をかけたり、物をのせたりしないでください。 落ちてけがをしたり漏水、故障の原因となります。
	水道（上水道）水以外の物を通水しないでください。爆発、発火、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。
	凍結に注意してください。 給湯器本体や配管が破裂するおそれがあります。
	結露に注意してください。漏電および故障の原因となります。特に本体のそばでお湯を使用される場合は、換気装置の設置など対策を施してください。
	満水にしてから通電する。 タンクに水をいれずに通電すると過熱し発火や故障の原因となります。
	逃し弁の点検時には逃し弁、排水管に手を触れない。 高温となりやけどのおそれがあります。
	本体は必ず垂直に設置してください。 爆発、発火、故障の原因となります。
	長期間使用しないときはタンクの水を抜く。 長期間のご使用によって、タンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって、水質が変わることがありますので、そのまま飲用しないでください。飲用される場合には、配管内にたまっていた水を除き、今一度、やかんなどで沸かしてからお飲みください。固形物や変色、にごり、異臭があった場合は飲用を控えてください。
	定期的にタンク内部を清掃してください。

目次

安全上のご注意

警告表示の意味……1

重要事項：必ずお守りください……1～2

目次 ……3

ＥＳ-DW３ＢＲ/Ｌ（自動湯水入替機能付）について

各部の名称と機能……4

据付について ……5

電気工事 ……5

配管工事 ……6

試運転およびご使用方法

前準備……7

運転……7

長期間お使いにならないとき……7

自動湯水入替機能について

自動湯水入替機能とは… ……8

自動湯水入替機能の動作日時を変更する……9

タイマー（ＳＳＣ－５０６Ｈ）について

注意事項……１０

各部の名称……１０

初めてお使いになるときは……１１

運転を休止する曜日を変更する……１１

運転する時間帯を設定する……１２

お湯の温度を設定する……１３

時刻・曜日を合わせる……１４

連続運転する場合……１４

各種設定・時刻の初期化……１４

省エネモードについて……１５

ＡＬ（異常）表示が出たら……１５

仕様……１５

保守・点検 ……１６

故障かな？というときには… ……１７

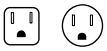
仕様 ……１８

お問合せ先 ……１８

ES-DW3BR/L(自動湯水入替機能について)

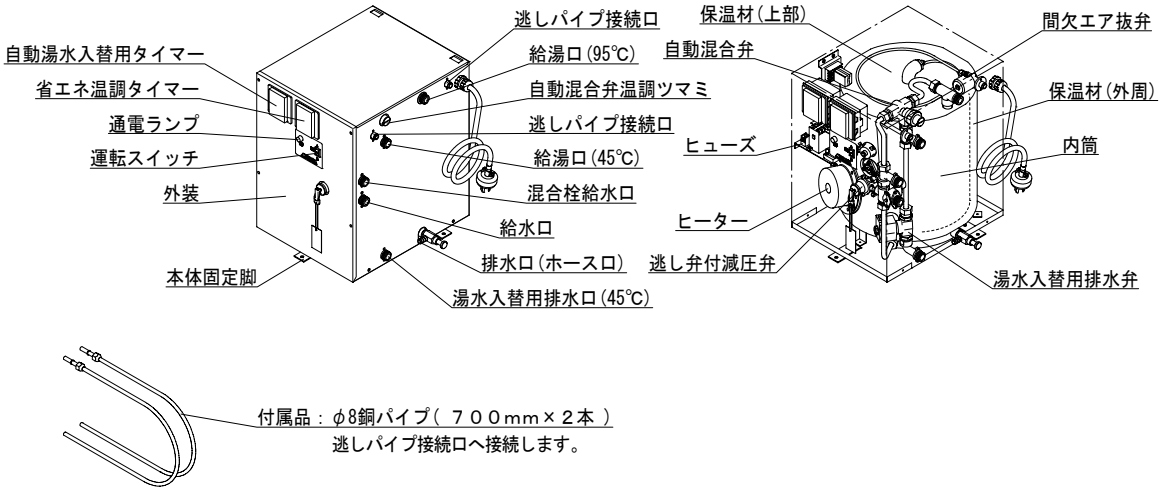
■各部の名称と機能

標 準 電 源 プ ラ グ 表

電源	単相100V			単相200V		三相200V
ヒーター容量	1.1kW以下	1.5kW以下	2kW以下	3.1kW以下	4/5kW	6kW以下
プラグ品番	KP-300 (電源ﾌﾟﾗｸﾞ･ｺｰﾄﾞ一体型)	3222N-L6	WF6330	3222N-L6	WF6330	WF6420
プラグ形状						
許容量	125V15A	250V20A	250V30A	250V20A	250V30A	250V20A
対応コンセント参考品番	WF3002EK WK3001W	WF2520B/W WK2520B/W	WF2330B/W WK2330	WF2520B/W WK2520B/W	WF2330B/W WK2330	WF2420BK/WK WK2420K
対応コンセント側形状						

対応コンセント参考品番は松下電工製です。尚、WFは埋込型ｺﾝｾﾝﾄでWKは露出型ｺﾝｾﾝﾄです。

[名 称]



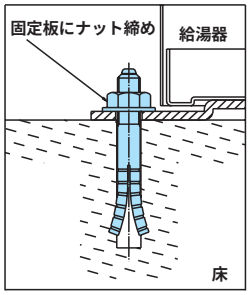
※ 寸法(W, D, H)については仕様表をご参照ください。

[機 能]

名　　称	機能の説明
省エネ温調タイマー	給湯器の温度調整とタイマー運転を行います。(10ページ参照)
逃し弁付減圧弁	給水圧の調整(80kPa)や逆流防止を行い、湯槽内の圧力上昇(97kPa以下)を防ぎます。
排水弁	湯槽内の水を排水する時に使用します。必ず間接排水として下さい。
間欠エア抜弁	湯槽内の空気や蒸気および湯槽内の水を間欠的に排出します。
過昇温防止スイッチ	機器類が故障し湯温が異常高温になった際に作動し運転を停止します。
自動混合弁	熱湯と水を混合します。(出荷時は45℃に設定)。
ヒューズ	操作回路に過電流または短絡が発生した場合の保護用です。
ヒーター	衛生的で耐久性に優れたＳＵＳ３１６Ｌ製です。
運転スイッチ	「ＯＮ」で自動運転が開始されます。
通電ランプ	ヒーター通電中（沸し上げ時）に点灯します。設定温度になると消灯します。
湯水入替用排水弁	自動湯水入替機能が作動した際に、排水開始・停止を制御する排出弁です。

据付けについて

■工事される方へのお願い



●右図のようにボルト（打込芯棒タイプなど）を使用し、
給湯器を床に固定してください。

●　ゆるみが無いように注意してください。

電気工事

■電気工事上の注意点

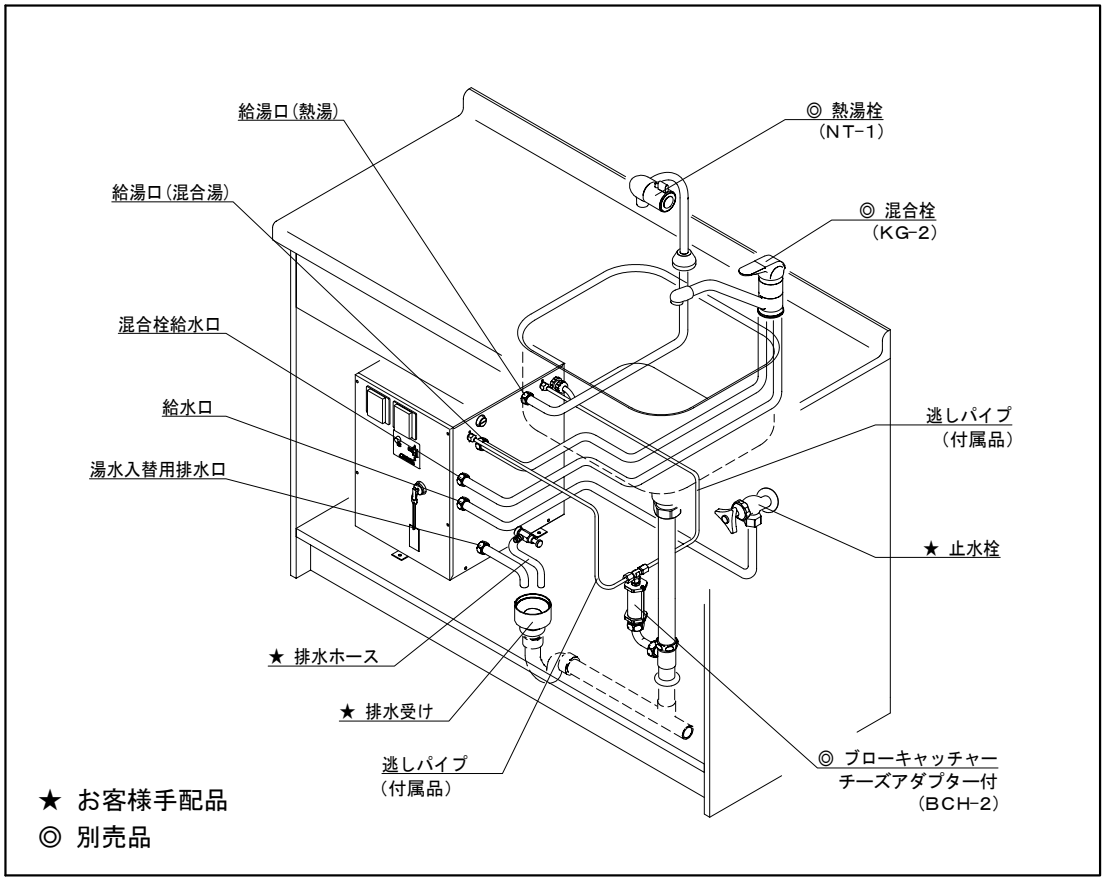
●機器電源一次側に必ず漏電ブレーカー（３０mA、０．１秒）を設置してください。

●必ずD種接地工事（アース）を施してください。ガス管、水道管などには絶対に
接続しないでください。

●給湯器の制御回路には、電子機器を使用していますのでプラグ部での絶縁テストは
しないでください。
（必ずヒーター端子部の配線を外してからヒーターの絶縁テストを行って下さい。）

配管工事

- 熱湯・混合水栓から機器との接続には、ユニオン又は袋ナット付配管を使用しメンテナンスの際に取り外せるようにして下さい。
- 配管の防食を防ぐため、一次側の給水管には鉄管などの異種金属管を使用しないで下さい。
- 温水器の排水は、必ず排水トラップを設けた排水管へ流してください。その際は、間接排水処理を施して下さい。
- 水道直結でご使用になる場合は、認証機関(社)日本水道協会等の型式認定が必要です。
- 各配管には、凍結や結露、放熱ロスを防ぐために保温工事を施して下さい。
- 逃し弁、間欠エア抜き弁の排水管は、必ず間接排水処理を施して下さい。



試運転およびご使用方法

1. 前準備

⚠警告

●漏電遮断器の作動を確認する。故障や漏電のときに感電するおそれがあります。
●アース工事を確認する。アース工事がされないと故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

タンク内を満水にする

①間欠エア抜き弁や逃し弁からは水が排出されますので、逃し管の排水処理がされているか確認してください。
②全ての給湯栓を開ける。→止水栓を開き給水する。
③給湯栓から水が出てきたら、配管内のゴミ等がなくなるくらいの間をおいてから、給湯栓を閉めて下さい。
④給湯器本体および周辺配管からの漏水がないことを確認してください。

給湯器に来ている電圧を確認

①使用電圧が機器定格電圧の±10%以内かどうかご確認ください。
＊他の負荷が無くなった時や夜間に電圧がアップする事がありますのでご注意ください。
＊電圧の測定は、テスターでコンセント側の電圧を測ってください。

2. 運転

⚠注意

●タンクが満水になっていることを確認してから通電すること。発火や故障の原因となります。
●湯温を確認する際は、手で触れたりしないこと。やけどのおそれがあります。

①電源プラグをコンセントにしっかり差し込んでください。
（スキマがあると、ホコリなどがたまりトラッキング現象が起きる原因となります。）
②一次側のブレーカーを「ON」にしてください。
③運転スイッチを「ON」にしてください。
④タイマーのスイッチをONの位置に合わせてください。
⑤通電ランプ（赤色）が点灯するのを確かめてください。ヒーターが加熱を始めます。
⑥タイマーは「おすすめプログラム」がセットしてありますが、変更したい場合は10～15ページを参照して変更してください。
⑦沸し上げ中に逃し弁から膨張水が吹き出されるのを確認してください。
⑧沸き上がると通電ランプ（赤色）が消灯します。
⑨湯温が飲用に適した温度になっていることを確認してください。
⑩タイマーのスイッチをAUTOの位置に合わせてください。
⑪省エネ運転にする場合はECOの位置に合わせてください。（15ページ参照）

3. 長期間お使いにならないとき

⚠注意

●排水処理は必ず蛇口からお湯が出なくなるまで冷ましてから行ってください。やけどのおそれがあります。

①給湯器の電源一次側に付いているブレーカーをＯＦＦにして下さい。
②湯槽内のお湯が冷えてから排水して下さい。

自動湯水入替機能について

1. 自動湯水入替機能とは･･･

《自動湯水入替機能とは･･･》

毎週１回、タンク内のお湯を自動で排出し、新しい水に入れ替えます。
湯水入替中には、沸し上げ運転が自動で停止するようになっています。

「自動湯水入替機能」の作動時間

タイマーには、工場出荷時に現在時刻と曜日、そして「自動湯水入替作動時間」をインプット済みです。

停電や休暇などで電源を切った場合でも、改めて各種設定をする必要はありません。（約8年間）

「自動湯水入替機能」の作動日時

運転開始時刻（ON）	運転終了時刻（OFF）
4:00	4: - -

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
―	○	―	―	―	―	―

○印が湯水入替の曜日

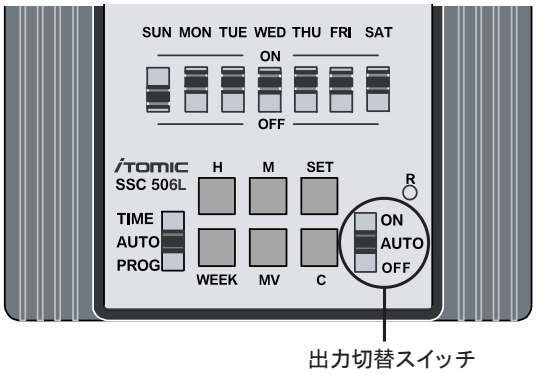
自動湯水入替機能の設定時間（工場出荷時）

型　式	開始時刻（ON）	終了時刻（OFF）	型式別の作動時間
ES-12DW3B	4：00	4：12	･････ 12分間
ES-20DW3B	4：00	4：16	･････ 16分間
ES-25DW3B	4：00	4：20	･････ 20分間
ES-30DW3B	4：00	4：23	･････ 23分間
ES-35DW3B	4：00	4：27	･････ 27分間
ES-50DW3B	4：00	4：37	･････ 37分間

「型式別の作動時間」が、各型式ごとに必要な「自動湯水入替時間」です。

注意）自動湯水入替機能の作動時間を変更する際は「型式別の作動時間」を必ず守ってください。また、温水器の運転時間と自動湯水入替時間は重ならないように注意してください。

●自動湯水入替機能を休止させたい場合には「自動湯水入替用タイマー」の出力スイッチを「ＯＦＦ」にしてください。



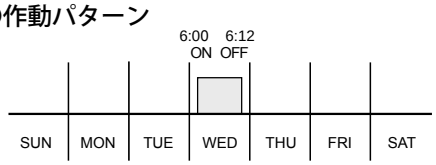
2. 自動湯水入替機能の動作日時を変更する

自動湯水入替機能の動作日時変更【水曜日 6:00 に変更する：ES-12DW3B の例】

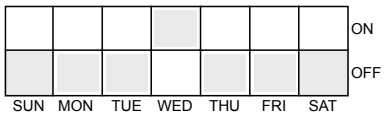
モードスイッチの位置	順序	表　示	キー操作
TIME AUTO PROG ↓	1	D ON --:-- SUN MON TUE WED THU FRI SAT	ペン先などで D になるまで 1 秒づつ R キーを押します。
	2	D ON 6:00 SUN MON TUE WED THU FRI SAT	時計表示部を見ながら H キーを押し 6 表示にし、M キーを押して 00 表示にします。
	3	D OFF --:-- SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SET キーを押し、ON 時刻を設定します。
	4	D OFF 6:12 SUN MON TUE WED THU FRI SAT	時計表示部を見ながら H キーを押して 6 表示にします。M キーを押して 12 表示にします。
	5	D ON --:-- SUN MON TUE WED THU FRI SAT	SET キー押し、OFF 時刻を設定します。 ※プログラム設定が終了したら MV キーによりプログラムの確認をしてください。 ・設定ミス及びプログラム変更の場合は C キーを押すと表示した不要な設定を消去します。再度設定してください。 ・SET キーと C キーを同時に押すとすべてのプログラムが消去します。
TIME AUTO ↑ PROG	6	D ON 10:00 SUN MON TUE WED THU FRI SAT	・現在時刻が表示されます。 ・Err が表示した場合はプログラム誤設定です。 P.5をご参照ください。

【注意】日時変更の際は、P8「型式別の作動時間」を必ず守ってください。

●作動パターン



●曜日選択スイッチ



モードスイッチの位置	表　示	プログラム例
TIME AUTO PROG	Err SUN MON TUE WED THU FRI SAT	ON　OFF　ON　OFF 1:00　2:00　3:00　4:00
		ON時間帯が重なっている。 ON　OFF　ON　OFF 1:00　2:00　3:00　4:00 ON時間帯が重なっている。
		ON ON、OFF ペアーで設定されていない。

省エネ温調タイマー（ＳＳＣ－５０６Ｈ）について

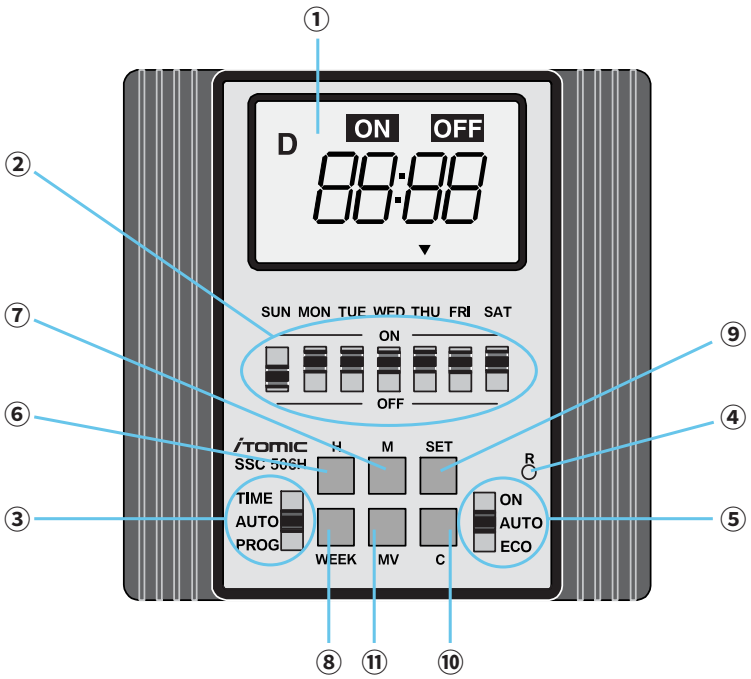
1. 注意事項

SSC-506Hは次のような場所はさけてご使用ください。

- ●周囲温度が0℃以下、55℃以上の場所
- ●湿度が80%以上の場所
- ●温度変化が急激で結露する場所
- ●可燃性ガスや腐食性ガスのある場所
- ●ホコリの多い場所
- ●振動や衝撃の大きな場所
- ●直射日光や雨の当たる場所
- ●金属やプラスチックに有害な有機溶剤や塩分の多い場所
- ●異常なノイズやサージ電圧のある場所

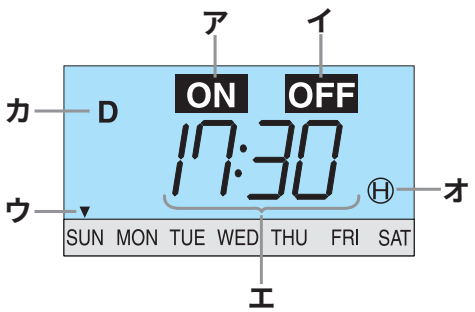
2. 各部の名称

①表示部
②曜日選択スイッチ
③モードスイッチ
④R（リセット）キー
⑤出力切替スイッチ
⑥H（時間）キー
⑦M（分）キー
⑧WEEK（曜日）キー
⑨SET（セット）キー
⑩C（クリア）キー
⑪MV（確認）キー



表示部

ア）ON表示
イ）OFF表示
ウ）曜日表示
エ）時刻表示/温度表示/AL表示
　　/Err表示/End表示
オ）ヒーター通電表示
カ）D表示



3. 初めてお使いになるときは

《おすすめプログラムをインプット済み》

タイマーには、工場出荷時に現在時刻と曜日、そして「おすすめプログラム」をインプット済みです。

「おすすめプログラム」とは・・・

一般的なタイマーON/OFF時刻・曜日を設定してあります。

停電や休暇などで電源を切った場合でも、改めて各種設定をする必要はありません。

（約8年間）

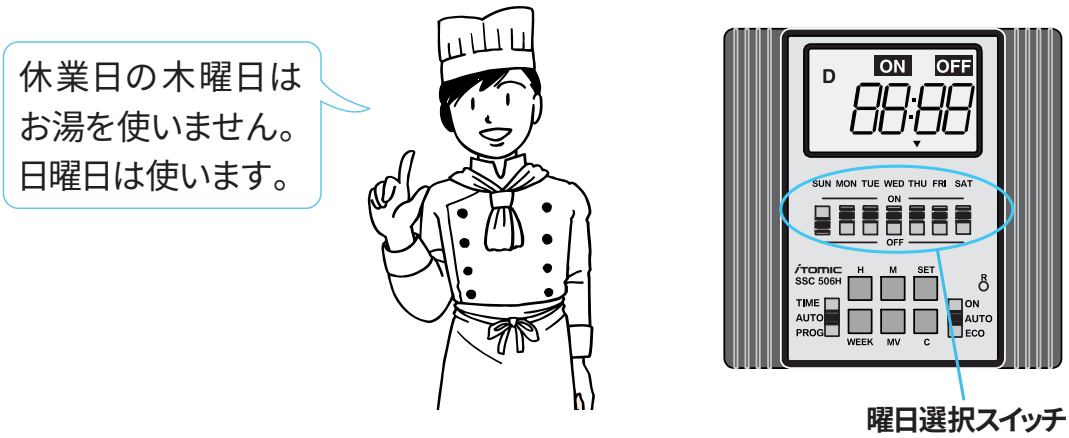
「おすすめプログラム」の内容

運転開始時刻（ON）	運転終了時刻（OFF）
6:30	18:30

日（SUN）	月（MON）	火（TUE）	水（WED）	木（THU）	金（FRI）	土（SAT）
ー	○	○	○	○	○	○

○印が運転する曜日

4. 運転を休止する曜日を変更する



《木曜日のみ運転休止、日曜日を含む他の曜日は運転する場合》

操作するスイッチ・・・ 曜日選択スイッチ

注意）初期設定は日曜日のみ運転休止です。

①木曜日の「曜日選択スイッチ（THU）」を下（―OFF―）にします。

②日曜日の「曜日選択スイッチ（SUN）」を上（―ON―）にします。

③木曜日以外の曜日スイッチが上になっていることを確認します。

④運転する曜日の設定完了です。

5. 運転する時間帯を設定する

《運転開始時刻を5:20に、運転終了時刻を22:00に設定する場合》

操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、H 、M 、SET

注意）初期設定では運転開始時刻6:30、運転終了時刻18:30です。

1. 運転する時間帯の変更

(1) 運転開始時刻の設定

①モード切替スイッチを PROG にします。

・・・既に設定されているオン時刻（初期設定のままでは【6:30】）と【ON】を表示します。

②『 H 』キーを押して時を5に合わせます。

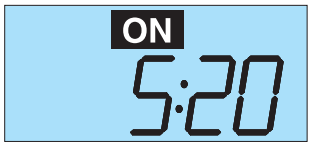
③『 M 』キーを押して分を20に合わせます。

④『 SET 』キーを押して運転開始時刻の設定終了です。

・・・既に設定されているオフ時刻（初期設定のままでは【18:30】と【OFF】）を表示します。

①

②・③



④

(2) 運転終了時刻の設定

⑤『 H 』キーを押して時を22に合わせます。

⑥『 M 』キーを押して分を00に合わせます。

⑦『 SET 』キーを押してオフ時刻の設定終了です。

・・・液晶画面に【 End 】が表示されます。

⑧モード切替スイッチを AUTO にして運転時間の設定完了です。

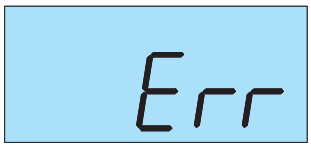
・・・運転開始5:20、運転終了22:00に設定されました。

⑤・⑥

⑦

注意）設定が誤っている場合は上記⑧でモード切替スイッチを AUTO にした際、【 Err 】を表示します。設定を修正してください。

例）運転開始時刻・運転終了時刻を同じ時刻に設定した場合



2. 運転する時間帯を表示する

操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、MV

①モード切替スイッチを PROG にします。

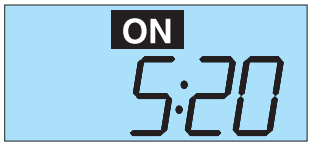
・・・運転開始時刻が表示されます。

②『 MV 』キーを押します。

・・・運転終了時刻が表示されます。

③モード切替スイッチを AUTO にします。

①



②

6. お湯の温度を設定する

《お湯の設定温度９５℃から８５℃に変更する場合》

操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、WEEK 、M 、H 、SET

注意）■ 初期設定ではSSC-506Hは95℃に設定済みです。

■ 湯温を85℃以下に設定する場合は飲用に注意してください。

1. 設定温度の変更

①モード切替スイッチを PROG にします。

②『 WEEK 』キーを押しながら『 H 』キーまたは『 M 』キーを1回押します。

・・・現在の設定温度95℃が表示されます。

③設定温度を下げたい場合は『 WEEK 』キーを押しながら『 M 』キーを押します。1回押すごとに1℃ずつ下降します。

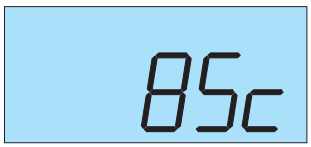
設定温度を上げたい場合は『 WEEK 』キーを押しながら『 H 』キーを押します。1回押すごとに1℃ずつ上昇します。

④表示が"85C"になったら『 SET 』キーを押します。

⑤モード切替スイッチを AUTO にして設定完了です。

②

③



2. 設定温度を表示する

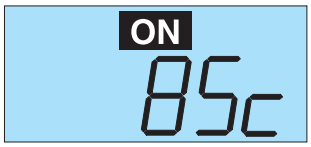
操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、WEEK 、H

①モード切替スイッチが AUTO になっていることを確認してください。

②『 WEEK 』キーを押しながら『 H 』キーを1回押します。

・・・約5秒間、現在の設定温度が表示されます。

①・②



3. 現在の湯温を表示する

操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、MV

①モード切替スイッチが AUTO になっていることを確認してください。

②『MV』キーを押します。

・・・約5秒間、現在の温度が表示されます。

①・②

7. 時刻・曜日を合わせる

《水曜日の19:00に合わせる場合》

操作するスイッチ・・・ モード切替スイッチ 、H、M、SET

①モード切替スイッチを TIME にします。
・・・現在時刻曜日を表示します。未設定時は、時刻を【— —:— —】、曜日は日曜日を示します。

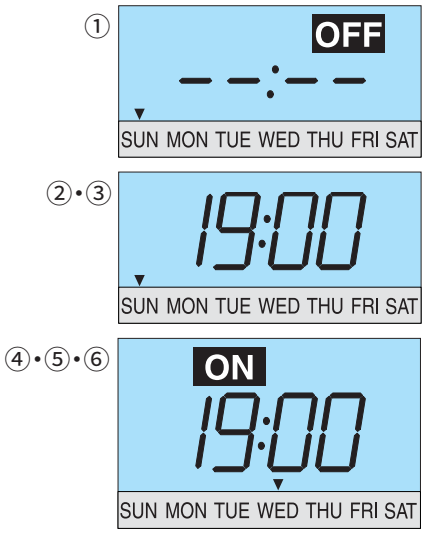
②『 H 』キーを押して時を19に合わせます。

③『 M 』キーを押して分を00に合わせます。

④『 WEEK 』キーを押して水曜日に合わせます。

⑤『 SET 』キーを押します。

⑥モード切替スイッチを AUTO にして現在時刻、曜日の設定完了です。



8. 連続運転する場合

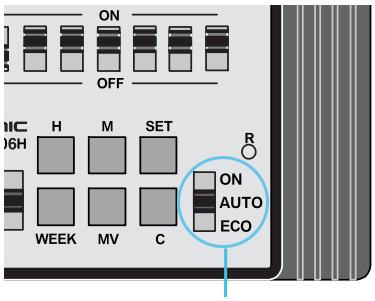
タイマーの設定に関わらず、給湯器を連続運転する場合の設定です。

操作するスイッチ・・・ 出力切替スイッチ

①出力切替スイッチをONにします。

②通常の運転に戻すときは必ず出力切替スイッチを AUTO またはECOにします。（１５ページ参照）

注意)給湯器本体の電源ON／OFFについては ７ページをご覧ください。



出力切替スイッチ

9. 各種設定・時刻の初期化

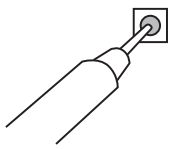
初期化すると下記の設定になります。

運転開始時刻（ON）	6:30
運転終了時刻（OFF）	18:30
現在時刻・曜日	「——:——　日曜日」になります。 現在時刻・曜日を設定してください。（１４ページ）
運転休止曜日	R（リセット）キーでは初期化されません。曜日選択スイッチで操作してください。（１１ページ）

操作するスイッチ・・・ R（リセットキー）

①ペン先などでR（リセットキー）を2秒以上押します。

②時刻・各種設定の初期化完了です。



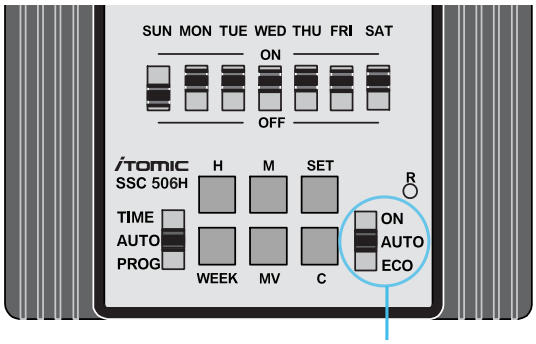
10. 省エネモードについて

1. 省エネモードとは・・・

過去2週間の運転記録をもとにもっとも効率のよいヒーター通電を行います。
1年間で約1200円の節約になります。

条件：水温12.3℃、機種ES-20DW3L（1φ200V3kW）、1kWh=15円、おすすめプログラムで計算（2003年3月現在）

注意）省エネモードの場合、あまりお湯を使用しない時間帯は設定温度～マイナス10℃（設定温度95℃の場合は95℃～85℃）の範囲をキープします。常に一定の温度が必要な場合はAUTOモードにしてください。



出力切替スイッチ

2. 省エネモードの設定

操作するスイッチ・・・ 出力切替スイッチ

①出力切替スイッチを ECO にします。
②省エネモードの設定完了です。

11. AL（異常）表示が出たら

タイマーは各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときは表示部にALが表示されます。

AL-番号	異常	対処法（ナビダイヤル 18 ページ）
AL-1	過昇温	ナビダイヤルへご相談ください。
AL-2	空焚き	止水栓が閉まっていませんか? 断水ではありませんか? 上記以外の場合は給湯器の電源スイッチをオフにしてナビダイヤルへご相談ください。
AL-4	サーミスタ断線	給湯器の電源スイッチをオフにしてナビダイヤルへご相談ください。
AL-5	サーミスタ短絡	
AL-6	ヒーター断線	
全セグメント点滅	CPU異常	給湯器の電源を一度、オフにしてからオンにしてください。それでも全セグメント点滅が発生する場合は給湯器の電源をオフにしてナビダイヤルへご相談ください。
Err	時刻設定誤り	12ページをご参照ください。

注意）AL-3はありません。
給湯器の不具合は17ページをご参照ください。

12. 仕様

型番	SSC-506H	周囲温度	-10℃～55℃以内
外形寸法	W72.0mm×H72.0mm ×D59.5mm	設定回数	1動作／日
		設定間隔	最小1分
定格電圧	AC 100V/200V共用	時間精度	±15秒／月(平均25℃)
周波数	50 / 60Hz	消費電力	約3VA
停電補償	約8年間（リチウム電池使用）	重量	約200g
電圧変動率	定格電圧±10%以内		

保守・点検

⚠警告

●充電部の点検をする場合には必ず電源を切ってください。感電のおそれがあります。
●点検をする際は十分に冷ましてから行ってください。やけどのおそれがあります。

日常の点検は、下表を参考にしてください。

点検項目＼内容	点　検　内　容	実施の目安
電圧の測定	過電圧はヒーターの寿命を著しく短くしますので、特に夜間等負荷が小さくなる時間帯の電圧にご注意ください。許容範囲±10%	1回／月
電流値の測定	ヒーターが断線しますと、当然給湯器の能力がダウンします。断線の有無は、電流値を測定する事で分かります。許容範囲±10%	1回／月
ヒーター絶縁抵抗測定	個々のヒーターの絶縁抵抗値を計り、1MΩ以上あればOKです。	1回／月
電装ケース内部の焼損および異常の有無点検	目視により異常の有無をチェックしてください。電磁接触器の接点部のチェック、作動時のチャタリングの有無など。	1回／月
省エネ温調タイマーの機能点検	通常、湯温の設定は約95℃です。	1回／月
間欠エア抜き弁の吹出し状態点検	吹出したり、止まったりは正常な動作です。ただし吹出しっぱなしは異常ですので、間欠エア抜き弁自体および減圧弁を点検してください。	1回／月
給湯器および配管部の漏水有無の点検	あらゆる部分について漏水は絶対防止する必要があります。漏水がある場合は迅速な処置または連絡をお願いします。	1回／月
排水の実施	湯槽はステンレスですが、より衛生的にお使いいただく為、定期的に湯をさましてから排水してください。	1回／月
逃し弁の点検	逃し管から水が出っぱなしになっていないことを確認してください。また、テストレバーを上げ下げし、作動テストしてください。	1回／月
間欠エア抜き弁の点検	間欠エア抜き弁の逃し管から湯が出っぱなしになっていないことを確認してください。また、運転スイッチを一度ＯＦＦにし、５秒以上経って再びＯＮにし、逃し管から湯が約20ccほど排出することを確認してください。	1回／月

メンテナンス契約について

給湯器を永くお使いいただくには、メンテナンス契約が有効です。
詳しくは下記のフロント課までご連絡ください。また、部品の注文もフロント課で承ります。

TEL:03-3621-2161(代)
FAX:03-3621-2163

◎24時間サービス体制

故障かな？というときには…

⚠警告

●充電部の点検をする場合には必ず電源を切ってください。感電のおそれがあります。
●点検をする際は十分に冷ましてから行ってください。やけどのおそれがあります。

一見故障と思いがちでも、実際には製品の故障でないことがありますので、下表を参考にしてチェックしてください。
下記処置で不具合が直らない場合はナビダイヤル（ 18 ページ）へご相談ください。

故障の状況	チェックポイント	処理の方法
湯が沸かない	①一次側のブレーカーがOFFになっていませんか?	ブレーカーを「ON」にしてください。
	②プラグが確実にコンセントに差し込んでありますか?	確実に差し込んである場合でも、結線部が断線していることがありますので、点検してください。
	③（自動）運転スイッチがOFFになっていませんか?	（自動）運転スイッチを「ON」にしてください。
	④ヒューズが切れていませんか?	ヒューズを取り替えてください。
	⑤過昇温防止装置が作動していませんか?	原因を取り除いてから、過昇温防止スイッチを押してください。
	⑥ヒーターが断線していませんか?	導通を確認してください。不良の場合は交換が必要です。
	⑦逃し弁は正常ですか?（ゴミが、かんでいたり、減圧弁の故障も考えられます。）	通電時、ボタボタ出るのは正常ですが、吹出しっぱなしは異常です。交換してください。
	⑧タイマーは正しく設定されていますか?	プログラム確認。(10～12ページをご参照下さい。)
	⑨電圧が低くないですか?	200Vの給湯器を100Vで使用しても故障しませんが、運転できません。
湯温が低い 沸上がり時間がかかりすぎる	①湯を使用した直後ではないですか?	瞬間式ではありませんので、沸上るまで時間がかかります。
	②逃し弁は正常ですか?（ゴミが、かんでいたり、減圧弁の故障も考えられます。）	通電時、ボタボタ出るのは正常ですが、吹出しっぱなしは異常です。交換してください。
	③水温が低くなってきていませんか?	秋から冬にかけて水温が急激に下がります。したがって沸上り時間もかかります。
	④省エネ温調タイマーまたはヒーターの故障では?	ヒーターの導通を計ってください。また、設定温度を確認してください。
湯量が少ない 湯も水も出ない	①給水量が不足しているのでは?	止水栓は開いていますか。減圧弁およびストレーナーにつまりはないですか。
	②給湯栓がつまっていませんか?	フィルターを掃除してみてください。
漏水している	①配管接続部ではないですか?	給水・給湯接続部の場合は締め直してください。
	②どの部分からかわかりますか?	逃しパイプの処理配管接続部も点検してください。また、本体からの場合はその旨お知らせください。
タイマーの液晶表示が消えている	①電源が来ていないのではありませんか?	電源の確認をしてください。
タイマーにALが表示されている	●AL-1●AL-2●AL-4●AL-5●AL-6●Err●点滅	15 ページをご参照ください。

仕 様

型　　番		ES-12DW3BR/L	ES-20DW3BR/L	ES-25DW3BR/L	ES-30DW3BR/L	ES-35DW3BR/L	ES-50DW3BR/L
定　格	電　圧	単相200V					
	消費電力	1.1kW/1.5kW	2.1kW/3.0kW				
缶体容量		12リットル	20リットル	25リットル	30リットル	35リットル	50リットル
沸き上がり温度		40～95℃					
沸き上がり時間（水温15℃）	1.1kW	61分	——	——	——	——	——
	1.5kW	45分	——	——	——	——	——
	2.1kW	——	52分	67分	80分	91分	130分
	3.0kW	——	36分	47分	56分	63分	91分
給湯方式		先止式					
据付方式		床置式					
寸法（mm）	W×D×H	250×370×388	300×365×421	370×430×374	370×430×419	370×430×469	370×430×619
運転質量		約21kg	約33kg	約40kg	約46kg	約51kg	約69kg
主要部品	ヒーター	シーズヒータ（SUS316L）					
	減圧弁	設定圧力80kPa					
	逃し弁	設定圧力97kPa					
	間欠エア抜き弁	定時解放					
	自動混合弁	設定温度45℃（30℃～50℃可変）					
	電源コード	1.0m（電源プラグアース極付）					
安全装置	過昇温防止	バイメタル式					
	空焚防止	電子制御式					
純正別売品	ブローキャッチャー	BCH-1/BCH-2/BCH-3（チーズアダプター付）					

● 省エネ温調タイマーの仕様につきましてはＰ１０をご覧下さい。

アドバイス＆メンテナンス

データベース管理と専門技術で安心・快適のサポート。

お買上げいただいた機器は、すべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが、責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに、快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

アフターサービスのお問い合わせ

ITOMIC 全国共通ナビダイヤル

オー! イ　ト　ミック

TEL 0570-011039

ご依頼時に必ず型番・製造番号をお知らせください。

メンテナンス契約

当社製品を永くお使いいただくためには、メンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社フロント課までご連絡ください。また、部品のご注文もフロント課で承っています。

TEL：03-3621-2161(代)
FAX：03-3621-2163

24時間サービス体制
夜間専用電話：東京03-3621-2161

●ISO9001認証取得●経済産業省電気用品製造事業届出工場●日本水道協会検査委託登録工場●日本電機工業会正会員●日本ボイラ協会員●建設業許可

株式会社日本イトミック

営業本部
〒130-0002　東京都墨田区業平5-11-3 イトミックビル
TEL:03（3621）2121（大代表）FAX:03（3621）2130

本社工場
〒143-0002　東京都大田区城南島4-6-8
TEL:03（3799）7311（代表）FAX:03（3799）7310

フロント課（保守・部品・修理）
TEL:03（3621）2161（代表）　FAX:03（3621）2163　ホームページ　http://www.itomic.co.jp

〈地区販売会社・営業所〉

■地区販売会社

北海道地区	●(株)北海道イトミック	:〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条5-1（ラポール24軒2号館）	TEL 011（615）6681(代)	FAX 011（615）7004
東北・新潟地区	●(株)東北イトミック	:〒981-3125 仙台市泉区みずほ台4-3	TEL 022（773）6161(代)	FAX 022（773）6213
中部・北陸地区	●(株)中部イトミック	:〒460-0002 名古屋市中区丸の内2-16-30（丸の内魚住ビル）	TEL 052（222）2561(代)	FAX 052（222）2559
近畿地区	●関西イトミック(株)	:〒541-0041 大阪市中央区北浜3-7-12（東京建物大阪ビル）	TEL 06（6226）0800(代)	FAX 06（6226）0802
中国・四国地区	●(株)中国イトミック	:〒730-0051 広島市中区大手町1-7-12（徳永ビル）	TEL 082（240）1361(代)	FAX 082（240）1363
九州地区	●(株)九州イトミック	:〒812-0007 福岡市博多区東比恵3-28-5	TEL 092（481）3911(代)	FAX 092（481）3930

■営　業　所

(株)日本イトミック 北関東営業所	:〒306-0234 茨城県猿島郡総和町上辺見2265	TEL 0280（31）3921(代)	FAX 0280（31）3590
関西イトミック(株)神戸営業所	:〒650-0001 兵庫県神戸市中央区加納町4-4-17	TEL 078（325）2833(代)	FAX 078（325）2832